



レガスマつり2024

自衛隊東京地方協力本部豊島出張所（所長 岩澤一陸尉）は、4月13日、新宿コズミックセンター、新宿歴史博物館などをメイン会場に実施された「レガスマつり2024」において広報活動を実施した。

本イベントは、新宿未来創造財団が企画・運営し、区内4カ所の会場で「巨大迷路」や「新宿のなぞときチャレンジ」、「ティラノサウルスレース」など「レ（歴史）・ガ（学習）・ス（スポーツ）」の、様々な分野の体験コーナーやステージ発表等のイベントが開催された。

豊島出張所は、新宿区大久保スポーツプラザにおいて「VR体験」「迷彩服等試着コーナー」「能登半島地震における災害派遣活動状況パネル展示」を行い、多くの来場者に対して自衛隊の活動について紹介した。

VR体験は順番待ちが出来るほど盛況であり、映像を見終わった来場者は一様に興奮した表情を見せていた。また、試着コーナーでは、陸・海・空それぞれの制服等を着て記念写真を撮るなど、笑顔があふれていた。さらに、過酷な状況で活動に従事する隊員の写真を見て、自衛隊の活動に感謝を伝えてくれる方もいた。

豊島出張所は、今後も各種イベントで自衛隊広報を実施し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛隊募集業務に繋げていくとしている。



音楽職種説明会 in 桐朋学園大学（仙川キャンパス）

自衛隊東京地方協力本部府中分駐所（所長 近藤一陸尉）は4月17日、桐朋学園大学（仙川キャンパス）において、

現役音楽隊員による陸・海・空合同の音楽職種説明会を実施した。

本イベントは、陸・海・空の中央音楽隊を招き、音楽隊の活動の意義、具体的な仕事内容、自衛官採用試験から音楽隊に配置されるまでの流れについて、現役音楽隊員から直接説明を受けることができる説明会である。

当日は、陸上自衛隊中央音楽隊による全ての音楽隊に共通する事項の説明に始まり、陸・海・空自衛隊中央音楽隊それぞれの演奏会や訓練、日頃の生活について笑いを交えながら終始和やかなムードで開催された。説明終了後は、参加者と現役音楽隊員による懇談時間が30分程設けられ、ざっくばらんな意見交換がなされていた。

説明会を終えた参加者の一人は、「フルート奏者の演奏服が本当に素敵でした。私もあれを着て舞台に立ちたいです。」と興奮した様子で話していた。府中分駐所では、今後も学校、部隊等と連携しつつ、地域に密着した募集・広報活動を実施して、防衛省・自衛隊に対する理解と興味を獲得して将来の募集活動に繋げていくとしている。

説明会を終えた参加者の一人は、「フルート奏者の演奏服が本当に素敵でした。私もあれを着て舞台に立ちたいです。」と興奮した様子で話していた。府中分駐所では、今後も学校、部隊等と連携しつつ、地域に密着した募集・広報活動を実施して、防衛省・自衛隊に対する理解と興味を獲得して将来の募集活動に繋げていくとしている。



ハローワーク墨田で募集広報活動を実施

自衛隊東京地方協力本部新小岩募集案内所（所長 藤野一陸尉）は4月22日、ハローワーク墨田において第1普通科連隊の支援を受けて募集広報活動を実施した。

本イベントは、ハローワーク墨田が23区内で唯一、駐車場を有するハローワークである特徴を活かし、同ハローワーク協力のもと、入隊志願者の新規獲得及び自衛隊に対する地域住民の理解促進を目的として、軽装甲機動車や偵察バイクの展示を含めた初のイベント開催となった。

当日は、あいにくの雨天でハローワーク利用者も晴天時の1〜2割程度と低調ではあったが、物珍しさからか足を止めてくれる来場者も多く、自衛隊に対する理解促進に繋がった。また、ハローワーク墨田の職員の方も装備品展示に立ち寄り、自衛隊に対する理解を深めることにより、今後同様のイベントを実施するための関係強化を推進することができた。

新小岩募集案内所は今後も所員一丸となり募集広報活動を実施し、部隊等と連携しながら、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、入隊志願者獲得のための努力を惜しまないとしている。

